

第二次市子ども・子育て支援事業計画の基本理念（案）

| No. | 基本理念 | 考え方 |
|-----|---|--|
| 1 | みんなで子育て！子どもの笑顔があふれるまち いわき | 「みんなで子育て！」は、母親だけではなく、父親や家族、地域も含めて、みんなで子どもを育てていく。子どもの笑顔があふれることは、子どもの人権が尊重され、健やかに成長していると考ええる。 |
| 2 | すべての子どもたちが等しく健やかに生まれ 未来を築いていけるまち いわき | すべての子どもたちが、等しく健やかに生まれ、未来を築いていく権利を持っている。未来を担うかけがえのない存在である子どもたちを、誰もが安心して生み、育てることのできるまちを目指して、全力で支援していく。 |
| 3 | すべてのこどもが笑顔になり すこやかに成長できるまち いわき | 「子どもの笑顔」は、子どもの人権が守られていることや、子育て支援が充実していること象徴として考えることができる。子どもに優しい社会の中で、子どもも自らも成長してほしいとの願いを込めたもの。 |
| 4 | すこやかにほがらかにすべてのこどもをはぐくもう いわき、げんき、だいすき | 「すこやかに」は心身ともに健康であること、「ほがらかに」は子どもの笑顔、「はぐくもう」は大人に対して、子どもがすこやかでほがらかに生まれるよう、投げかけの想いを込めたもの。「いわき、げんき、だいすき」は、いわきへの愛着心を持ってもらいたいとの願い。 |
| 5 | すべてのこどもが、笑顔ですくすく、 いきいき、和らかに育つ安全・安心な家庭・地域・社会をつくり こどもが将来の夢や希望を持てるよう支援していく | 子どもは、どのようにしたら、すくすくのびのび育つことができるかを考え、子どもの「笑顔」を中心に、関連するワードを組み合わせたもの。今の子どもたちは、将来の夢が現実的なので、大きな夢を持ってもらいたいという願いを込めている。 |
| 6 | 次世代を担うこどもたちが 安全・安心な家庭、地域、社会の中で生きる力を育み こどもたちが、将来の夢や希望を持てるよう支援していく | |
| 7 | すべてのこどもがいつも笑顔で心も体も健やかに成長できるよう 親・家族・地域・社会が見守り、助け合う環境の中で こども自身が未来に希望や夢をいだき生きる力を育むよう支援していく | |
| 8 | すべての子どもが健やかに成長でき、自分が望む未来を自由に選択できる よう支援する | 子どもがえがきたい未来を自由に選択できるよう支援する。また、どんな環境でも、子どもが、健やかに成長していけるよう支援したいとの想いを込めたもの。 |
| 9 | 次代を担う子どもたちが、自分らしく笑顔で健やかに成長できるまち | 「次代」は、いわき新時代を担う子ども。「自分らしく」は、子どもの人権が尊重され、自分の思いや意見を表明できることを大切にしたい。「笑顔」は子どもの幸せを第一に考え、健やかに成長できる願いを込めたもの。 |
| 10 | あたたかい社会の見守りの中で笑顔で ゆったりと安心して子どもが育つまち | 「あたたかい社会の見守り」は、社会が、親に対して優しい目で見守りあげること、「笑顔」は子どもが楽しく、「ゆったりと」は、パーフェクトの親はいないとの考えのもと、あまり固くならず子育てができること、「安心して」は犯罪や事故のないまちをイメージしたもの。 |
| 11 | すべての子どもが現在（いま）を、未来を「安全・安心・心豊か」に成長 していくことができるよう支援していく | 産まれた子どもは一人ひとりが大切に、幸せであることが大事である。その子は、未来、現在も含め、幸せでいて、さらに、安全・安心で心もおだやかに過ごすことができるよう、そのために必要な施策を進めていくことが必要である。 |
| 12 | 全ての子どもが、家庭や社会から尊重されることにより、自分を肯定し、 将来の可能性をひらいていくことができるようにする | 主体は子ども。全ての子どもが、将来の可能性を開いていくことができるようにする。このためには、自己肯定感がないと「自分ができる」とは思えない。その自己肯定感はどのように生まれるかというと、家庭や社会、みんなから愛され、大切にされることで、人権も尊重され、自分の意思も大切に思えるようになる。 |
| 13 | いわきっこが輝ける地域づくりをおこなっていく | いわきで生まれた、育ったこどもは「いわきっこ」と呼ばれ、これからのいわきを育てはぐくむ存在である。そんな「いわきっこ」を育てるための地域づくりを行っていく |
| 14 | いわきっこはいわき好き | 短くてキャッチーなもの。地元への愛着心を考えたもの。 |
| 15 | 子どもは地域の宝 家庭・地域・社会が手をつなぎ 子どもたちの明るい 未来を創り出す | 「子どもは地域の宝」は、少子高齢化が進む中で、地域の次代を担う子どもは、地域の宝といえる。親が孤立しないよう体制を家庭・地域・社会が手を取り合って作っていき、その先に、子どもたちの明るい未来・希望のもてるまちにつながる |
| 16 | 子どもまんなか 笑顔と夢が広がるまち いわき | みんなが、家庭や地域の中には「いつも子どもが『まんなか』にいる」という意識を持ち、ともに支え合い、子どもたちの笑顔と夢が広がるまちをつくっていく。 |